

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 102-8450

住 所 東京都千代田区二番町8番地8

氏 名 株式会社イトーヨーカ堂

代表取締役 山本 哲也

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社イトーヨーカ堂		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市中原区新丸子東 3-1135-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	1	卸売業, 小売業
	中分類	50	各種商品卸売業
主たる事業 の内容	衣料品、住居関連商品及び食品を取り扱う総合小売業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	7,741	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ~ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 15,677	(実) 14,843	(実) 14,696	(実) 8,318	(実) 15,207
	(調) 15,551	(調) 14,814	(調) 12,745	(調) 8,318	(調) 15,084
削減率		(実) 5.3%	(実) 6.3%	(実) 46.9%	(実) 3.0%
		(調) 4.7%	(調) 18.0%	(調) 46.5%	(調) 3.0%

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	売場面積×営業時間				原単位等の単位	t-CO2/m ² ・百万h
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)		
排出量原単位等の値	41.83	39.61	38.64	15.76	40.58	
活動量の値	375	375	380	528	-	
排出量原単位等の削減率		5.3%	7.6%	62.3%	3.0%	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	・運用対策の最適化の試みを推進した他、夏期の電力危機対策で臨時に照度設定変更や空調の温度設定変更、運転時間の変更等を行ったため、排出量、原単位とも実排出係数で5%以上の削減となりました。	
第2年度	・運用対策の最適化の試みを推進した他、夏期の電力削減対策で臨時に照度設定変更や空調の温度設定変更、運転時間の変更等を行ったため、排出量（実排出係数）で6.3%、原単位で7.6%の削減となりました。	
第3年度	・運用対策の最適化の試みを推進した他、夏期の電力削減対策として照度設定変更や空調の温度設定変更、運転時間の変更等を引き続き行ったこと、グランツリー武蔵小杉店にて2024年4月よりRE100電気の導入を行ったこと、川崎港町店が2025年1月に閉店し活動量が減少したことから、排出量（実排出係数）で46.9%、原単位で62.3%の削減となりました。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		運用対策の最適化、ウクライナ危機以降の照度設定や空調温度設定の見直し、さらにグランツリー武蔵小杉店でRE100電気を導入したこともあり、排出量、原単位とも計画を上回る削減ができました。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		今後も運用対策の最適化、老朽化設備の高効率機器への更新など省エネ対策を進めていきます。またRE100電気の利用拡充など非化石エネルギーへの転換も進めていきます。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>①P D C Aサイクルを行うための推進体制を整備する。 ②エネルギー使用量及びその負荷変動を管理し、過去の実績との比較及び分析を行う。 ③空調管理は区画の使用状況に応じた設備の運転時間、室内温度・湿度、換気回数、外気の有効利用を適切に設定し管理標準を見直し更新する。 ④照明設備は区画毎に調光設備及び昼光を活用すると共に過剰又は不用な点灯を無くす。 ⑤既存の設備に関しエネルギー効率や老朽化の状況等を把握・分析し、更新においてはエネルギー効率の高い機器を導入する。</p>
<p>第1年度</p>	<p>①推進体制は整備済み。 ②電力使用量の週報・月報を作成し、前年度より増加している場合は原因の分析を行った。 ③区画の使用状況に応じた設定の見直しを行った他、夏期の電力危機対策で臨時に温度設定、運転時間の変更を行った。 ④区画の使用状況に応じた設定の見直しを行った他、夏期の電力危機対策で臨時に照度設定、点灯時間の変更を行った。 ⑤既存LED照明器具の高効率型への更新、内照看板など未LED化照明器具のLED化などを今後実施していく予定。</p>
<p>第2年度</p>	<p>①推進体制は整備済み。 ②電力使用量の週報・月報を作成し、前年度より増加している場合は原因の分析を行った。 ③区画の使用状況に応じた設定の見直しを行った他、夏期の電力削減対策で臨時に温度設定、運転時間の変更を行った。 ④区画の使用状況に応じた設定の見直しを行った他、夏期の電力削減対策で臨時に照度設定、点灯時間の変更を行った。 ⑤既存LED照明器具の高効率型への更新、内照看板など未LED化照明器具のLED化などを今後実施していく予定。</p>
<p>第3年度</p>	<p>①推進体制は整備済み。 ②電力使用量の週報・月報を作成し、前年度より増加している場合は原因の分析を行った。 ③区画の使用状況に応じた設定の見直しを行った他、夏期の電力削減対策で臨時に温度設定、運転時間の変更を行った。 ④区画の使用状況に応じた設定の見直しを行った他、夏期の電力削減対策で臨時に照度設定、点灯時間の変更を行った。 ⑤既存LED照明器具の高効率型への更新、内照看板、外灯など未LED化照明器具のLED化を行った。 ⑥グランツリー武蔵小杉店にて2024年4月よりRE100電気を導入した(追加実施)</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>ウクライナ危機が契機となり、照度設定や空調温度設定に関して大幅な見直しを行うことができた。今後、AI空調の導入が検討されていることもあり、空調の運用基準をゼロベースで見直すなど、使用エネルギー省の削減について引き続き模索していく。またRE100電気利用の拡充など非化石エネルギーへの転換も図っていく。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 (RE100電気の導入)	○	2024年4月1日よりグランツリー武蔵小杉店にて導入
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光	28.572kW グランツリー武蔵小杉店	平成26年設置

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	・特に無し
第1年度	・特に無し
第2年度	・特に無し
第3年度	・特に無し

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	・セブン&アイグループのプライベートブランド「セブンプレミアム」では、「おいしさ」「品質」「安全・安心」といった価値の追求とともに、環境への配慮も重視して商品の開発を行っています。これまでに、リサイクルPETや間伐材など環境に配慮した容器・包装を、累計2050アイテムで採用しました。これら取り組みを継続強化します。
第1年度	・計画した取り組みを継続推進いたしました。
第2年度	・計画した取り組みを継続推進いたしました。
第3年度	・計画した取り組みを継続推進いたしました。

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	15,677 t-CO ₂	14,843 t-CO ₂	14,696 t-CO ₂	8,318 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	8,784 KL	8,154 KL	8,075 KL	7,741 KL
事業所の数	6	6	7	7

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
グランツリー武蔵小杉店	川崎市中原区新丸子東3-1135-1	5,930	5,893	5,491	166
イトーヨーカドー川崎店	川崎市川崎区小田栄2-2-1	2,794	2,683	2,616	2,430

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
イトーヨーカドー川崎港町店	川崎市川崎区港町12-1	2,218	2,067	1,958	1,547
イトーヨーカドー溝ノ口店	川崎市高津区久本3-6-20	1,638	1,499	1,450	1,358
イトーヨーカドー武蔵小杉駅前店	川崎市中原区小杉町3-420	1,566	1,435	1,316	1,230
イトーヨーカドー新百合ヶ丘店	川崎市麻生区上麻生1-4-1	1,531	1,266	1,272	1,019